

# 平成23年度 JFRL 講演会（浜松）

財団法人 日本食品分析センター(JFRL) 名古屋支所

拝 啓

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、下記の通り、今年度も浜松市での講演会を企画いたしました。ご多忙の折とは存じますが、是非、ご参加頂きますようご案内申し上げます。 敬 具

○日 時 平成24年1月18日(水) 13:30～16:35 (受付開始 13:10～)

○場 所 **アクトシティ浜松コンgresセンター 43・44 会議室**  
**浜松駅前** (JR 浜松駅北口より徒歩 5 分)

○参加費 **無 料** (会場定員 140 名)

○プログラム

・13:30 ～ 13:35 開会の挨拶

・13:35 ～ 14:20 (45分間・質疑を含む)

## 「義務化に向けた栄養成分表示のまとめと表示統一化の動き」

トランス脂肪酸が心疾患のリスクを高めることを受けて、栄養成分表示の義務化に向けた検討会報告書が出されました。検討会の内容と検討会を引き継いだ表示一元化の新たな動きをご紹介します。

名古屋支所 シニアマネージャー 氏家 隆

・14:20 ～ 15:20 (60分間・質疑を含む)

## 「異臭原因物質の推定法と分析事例」

食品・包材等から異臭が発生した場合、その再発防止のためにも異臭発生の原因を究明する必要が生じることがあります。その際、異臭を発する原因物質が推定できれば、異臭発生の根本原因を究明する上で重要な情報の一つを得ることになります。本講演では、私どもで行っている異臭原因物質推定を目的とした試験についての進め方と分析法をご説明し、また、いくつかの分析事例についてご紹介します。

彩都研究所 試験研究部 分析化学課 課長 伊佐川 聡

・15:35 ～ 16:35 (60分間・質疑を含む)

## 「ISO 22000とFSSC 22000 ～なぜFSSCか～」

ISO22000は、HACCPシステムの7原則12手順をマネジメントシステムにより管理するもので、食品安全管理システムの継続的な改善が可能です。最近、大手食品製造業や流通業の間で、ISO22000と一般的衛生管理(前提条件プログラム)の技術指針であるISO/TS22002-1を組み合わせたFSSC22000の認証取得を求める動きが表面化してきました。認証システムに何が起ころうとしているのか、世界の動き、我が国の対応についてご紹介します。

東京本部 参与 (テクニカルサービス部 部長) 湯川 剛一郎

◇ お申し込み方法 ◇

申込書に必要事項をご記入の上、FAX 052-261-8650 へお送り下さい。

FAX 頂いた申込書は「参加券」となりますので、当日会場にお持ち下さい。満席の場合に限り、こちらからご連絡をさせていただきます。(関連部門の方々にもご紹介いただけましたら幸いです。)

FAX 052-261-8650

(財)日本食品分析センター 名古屋支所 業務部 宛て

1月18日 (財)日本食品分析センター講演会(浜松) 申込書  
「参加券」

(FAX 後, 当日会場にお持ち下さい。)

貴社名		
ご芳名	フリガナ	
ご所属・役職		
ご住所		
TEL		
FAX		
e-mail		

HP

◎ 複数名でご参加の場合は, お手数ですが, 本紙をコピーしてご利用下さい。

◎ アクティシティの駐車場利用料金は 20 分ごとに 100 円です。TEL:053-451-1111

事前のご質問等がございましたら, ご記入ください。講演の中で回答させていただきます。

【個人情報の利用目的】

お客様の個人情報は, 試験・検査・審査・調査・研究・コンサルティングに関わる連絡・調整及び弊財団が実施する各種情報の提供や他の業務のご案内に限り, 利用いたします。

お問い合わせ先 (財)日本食品分析センター 名古屋支所 業務部  
TEL : 052-261-8651 FAX : 052-261-8650 担当 木村, 塩谷, 氏家